

注意点1

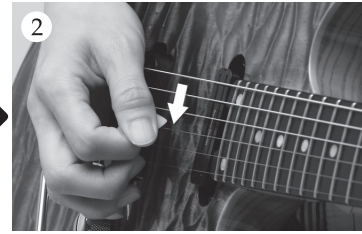


ストロークの大きさと力加減に気を配るべし!

パワー・コードと単音では、右手のストロークの大きさを変えることが大切だ(写真①~④)。パワー・コードは大きなストローク、単音は小さなストロークになるが、初心者は右手の振りを小さくしようとすると、音量も小さくなり過ぎてしまうことがある。したがって、**単音を弾く時には力をしっかり入れるように心掛けよう。**



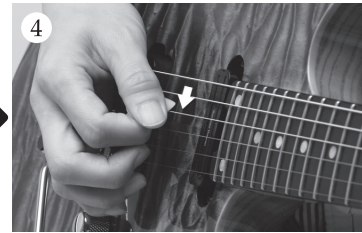
① パワー・コード時のダウン・ピッキング。



② スナップを利かせて、コードをしっかり鳴らそう。



③ 単音時のピッキング。右手の振りは、やや小さくなる。



④ 右手の力を弱めてしまうと、音が小さくなるので注意!

注意点2

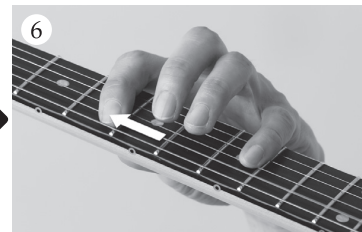


親指と手首の使い方がカギ! 正しいストレッチ法を学ぼう

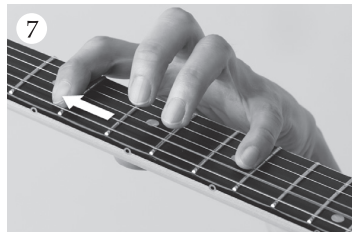
メイン・フレーズ1小節目~2小節目2拍目は、徐々にストレッチ・フォームになっていくので注意が必要だ(写真⑤~⑦)。指を開く時は、**左手の親指の位置を下げながら、手首を前に出すようにする**とよいだろう。ここでは、小指は4弦9フレットのまま変わらないので、小指の押弦がズレないように気をつけることも大切だ。



⑤ メイン・フレーズ1小節目1&2拍目のコード・フォーム。



⑥ 1小節目3&4拍目。指をやや開こう。



⑦ 2小節目1&2拍目。左手の親指の位置にも気を配ろう。

~コラム2~

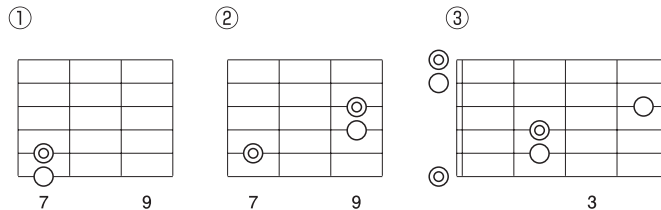
地獄の戯れ言

ここでは、パワー・コードのバリエーション例を紹介しよう。図1の①は、5thをベース音に移したパターン。1本指で押さえられるので、リフで活用することが多い。1オクターブ上のルートを加えた②は、厚みのある音の特徴だ。③の6本弦を使ったパターンは、迫力のあるサウンドが出せるので、長い音符で使用すると効果的となる。

パワー・コードはひとつだけにあらず! バリエーションを覚えよう

図1 パワー・コードのバリエーション例

◎ ルート=E音 ○ 5th=B音



【ストレッチ】左手の親指をヘッド側に向けて、さらに親指の腹全体をネックに付けてしまうと、左指をウマク開くことはできない。ストレッチ時には、親指は上に向けて、指の側面でネックを押さえるようにしよう。